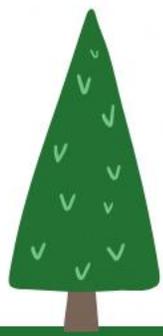
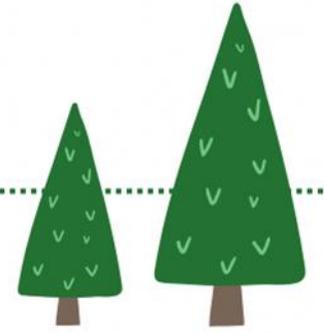


生涯学習施設に関する 市民説明会

胎内市生涯学習課
令和7年7月27日



本日の流れ



1.開会

2.市長あいさつ

3.説明 **【15分程度】**

(1) 胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）について

(2) パブリックコメント（意見募集）の実施状況の概要について

(3) 今後のスケジュールについて

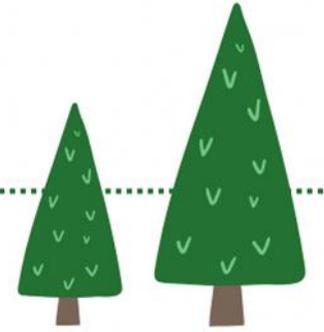
4.質疑応答 **【40分程度】**

5.教育長あいさつ

6.閉会

本資料中の基本構想とは「胎内市生涯学習施設整備基本構想」、基本計画（案）とは「胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）」を示します。

(1) 基本計画（案）について

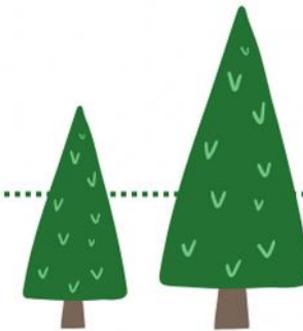


▷ 新たな生涯学習施設のコンセプト

『つなぎ・育む』情報・文化・交流の拠点

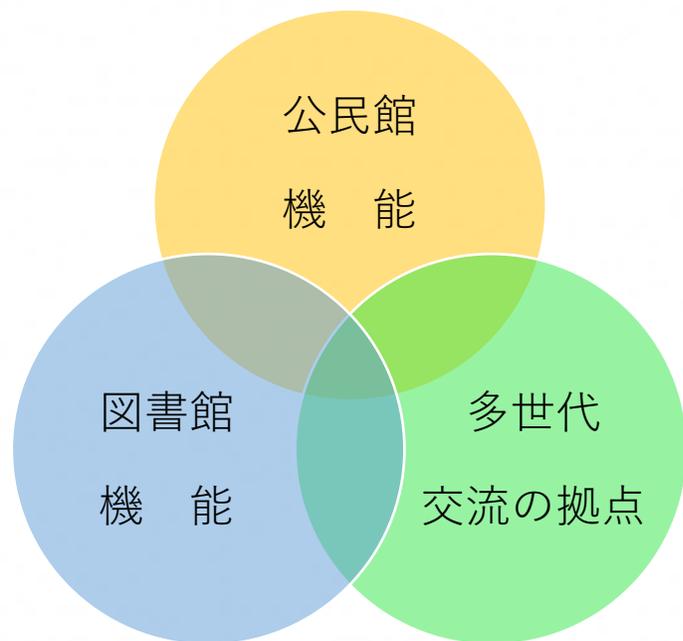
多世代交流拠点

(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷ 施設のイメージ

市民が集い、学び、交流する場として、子どもから高齢者まで、さまざまなニーズに応じた活動ができる施設を目指します。



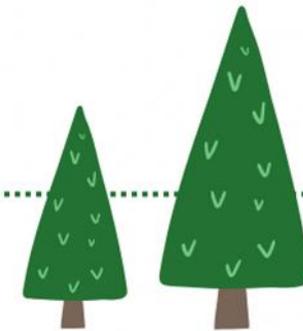
《建物内部》

- ・ 来館者が快適に過ごせるような、ゆったりとした空間

《屋外》

- ・ 子どもたちが自由に遊べる遊具施設を設けた広場
- ・ 多様な人々の交流を促進するための交流スペース

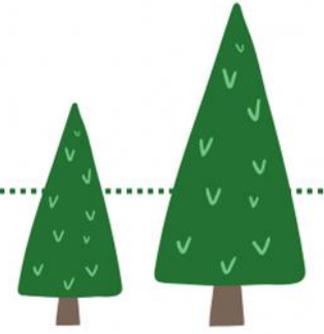
(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷ 建設予定施設の規模・事業費

施設の規模	延床面積4,000㎡程度
事業費	45億円（最大値） ※設計者のアイデアや提案を取り入れながら、可能な限り効率化縮小化を図り、一定以上のコスト削減に努めます。

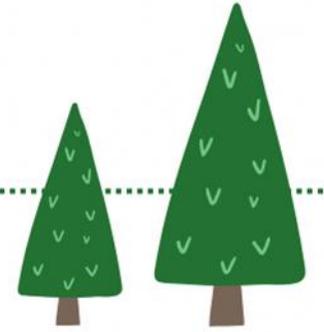
(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷ 基本構想を踏まえた建設候補地に求められる条件

- ① ゆとりある開かれた空間の創出
- ② 周辺環境の保全・調和
- ③ 利用者の導線（施設へのアクセスのしやすさとゆとりあるスペースの確保）

▷建設候補地について



- ①ふれすぽ胎内周辺
- ②中央公民館周辺
- ③中条駅周辺
- ④関沢地内（通称：嘉平山）
- ⑤旧柴橋小学校

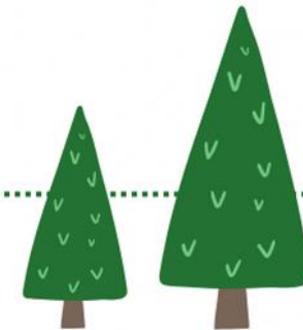
▷建設候補地比較表

条 件		①ぶれすぼ胎内周辺	②中央公民館周辺	③中条駅周辺	④関沢地内（嘉平山）	⑤旧柴橋小学校
施設整備	市有地	約3,000㎡	約8,200㎡	0㎡	10,000㎡以上	約10,600㎡
	十分な敷地面積の確保	想定する施設規模の整備は難しい。	統合中学校の建設予定地となる可能性がある。	(用地取得が必要)	確保可能	確保可能
アクセス・利便性	施設周辺の渋滞を招きにくい	周辺施設等（ぶれすぼ、陸上競技場、野球場）での大会等の開催時には混雑する恐れがある。	周辺道路が狭く、新施設の出入りにより渋滞が生じやすい。	周辺道路が狭く、新施設の出入りにより渋滞が生じやすい。	幹線道路から近く、渋滞の心配が少ない。	周辺道路が狭く、新施設の出入りにより渋滞が生じやすい。
	周辺道路等の安全性	道路の幅員が十分で見通しもよく、安全性は確保されている。	通学路かつ道路が狭く、歩行者の安全確保が重要	駅周辺は交通量が多いため、歩行者の安全確保が重要	道路の幅員が十分で見通しもよく、安全性は確保されている。	周辺道路が狭く、新施設の出入りで渋滞が生じやすく、歩行者の安全確保が重要
	十分な駐車台数の確保が可能か	ぶれすぼ胎内の駐車場と併用可能であるが、周辺施設等（ぶれすぼ、陸上競技場、野球場）での大会等の開催時には混雑する恐れがある。	統合中学校の建設予定地となる可能性もあり、想定する施設規模の駐車場の確保は難しい。	(用地取得が必要)	確保可能	確保可能
周辺環境	静かで落ち着いた環境か	普段は静かだが、大会等の開催時には一時的な混雑が生じる恐れがある。	静かな住宅地だが、通学路沿いのため時間帯によって混雑が予想される。	駅周辺は電車の発着時などは交通量が増え、混雑が予想される	自然に囲まれ、静かな環境が整っている。	周囲は住宅地や田で静かな環境が整っている。
コスト	用地取得	不要	不要	用地買収が必要 (建物、敷地、駐車場等に 必要な面積)	不要	不要
	インフラの整備	インフラ近接地	整備済	インフラ近接地	未整備	整備済

▷建設候補地比較表

候補地	メリット	デメリット
①ふれすぽ胎内周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれすぽ胎内の大型駐車場を併用可能 ・体育施設との併用が可能 ・市有地であるため用地購入費が不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅、中心市街地から遠い。 ・十分な敷地面積の確保が難しい。
②中央公民館周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・駅、中心市街地に近い。 ・現在の中条地区の利用者が利用しやすい。 ・市有地であるため用地購入費が不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路が狭いため、渋滞を引き起こしやすく、安全性が懸念される。 ・今後の統合中学校の建設予定地となる可能性がある。
③中条駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・駅、中心市街地に近い。 ・駅利用者（学生など）が利用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を満たす用地を取得しなければならない。 ・周辺道路が狭く、新施設の出入りにより渋滞が生じやすい。 ・電車の発着時など混雑が予想される。
④関沢地内（嘉平山）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅、中心市街地に比較的近い。 ・敷地が広く、設計自由度が高い。 ・自然豊かで静かな環境が整っている。 ・市有地であるため用地購入費が不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの整備が必要 ・幹線道路や市街地から視認しにくい。 ・近くにある櫛形山脈断層帯（加治川断層）の影響が懸念される。
⑤旧柴橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで落ち着いた環境 ・市有地であるため用地購入費が不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路が狭く、新施設の出入りにより渋滞が生じやすい。その際、歩行者の安全が懸念される。

(1) 基本計画（案）について（つづき）

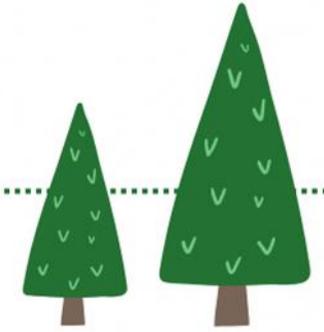


▷ 建設候補地について

新しい生涯学習施設の候補地として求められる条件を、これまで検討してきた場所に当てはめて現時点における計画段階の有力候補地を導き出しました。



(2) パブリックコメントの実施状況の概要について



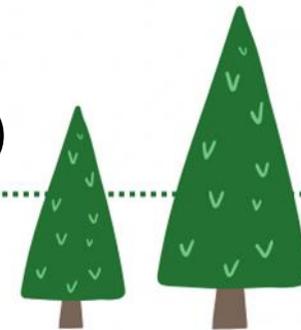
▷ 募集期間

令和7年4月17日（木曜日）～令和7年6月17日（火曜日）

▷ 募集結果

提出者数	55人（うち匿名6人）
ご意見の件数	59件（うち匿名6件）
提出方法	電子申請システム20件、持参24件、郵送11件、FAX2件、メール2件

(2) パブリックコメントの実施状況の概要について（つづき）



◎建設場所・立地に関して

- ◆建設候補地の関沢地内（通称：嘉平山）は市街地から遠く（※）、徒歩などでの利用が難しいことから、高齢者や子ども、子育て世代が気軽に利用しにくいのではないかと懸念されています。
- ◆5月21日付の新潟日報で、嘉平山が建設候補地であるかのように報じられ、十分な説明がないまま決定したように感じられた。
- ◆自動車を利用しない市民への配慮や、他の候補地の再検討、交流拠点としてふさわしい立地を慎重に選定すべきではないかと懸念されています。

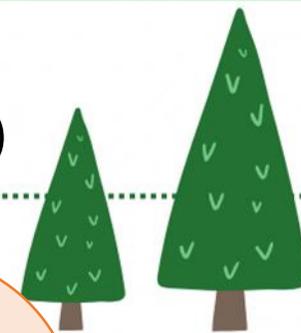
※実際には駅から1 km程度

(2) パブリックコメントの実施状況の概要について（つづき）

生涯学習施設は、来館者が快適に過ごせるよう、ゆったりとした空間とするとともに、屋外には子どもたちが自由に遊べる広場や交流スペースの整備を検討しており、そのため、広さに余裕のある敷地が求められます。また、大多数の利用者は自家用車で来館することが見込まれるため、アクセスが容易でまとまった台数の駐車場が確保できることが条件となります。これらを踏まえ、駅周辺や旧中条体育館跡地なども検討した中で、市街地に近く、アクセスが良く、自然に恵まれた関沢地内の市有地（通称：嘉平山）を有力な建設候補地としています。

ただし、現在の建設候補地は、あくまで有力候補地の一つであり、決して確定した建設予定地ではありません。**今後、多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申できる組織を立ち上げることも視野に入れて、意見を整理し、必要に応じて基本計画（案）の見直しも検討します。**

生涯学習施設は「市全体の施設」として位置付けており、のれんす号の活用や定期バスの運行も検討し、多くの市民が利用しやすい環境を整えていきたいと考えています。



市の考え



(2) パブリックコメントの実施状況の概要について（つづき）



◎施設規模・財政に関して

- ◆胎内市の人口減少が想定以上に進む可能性を踏まえ、施設の規模・予算（特に事業費45億円程度）が適切か。
- ◆利用者数や将来負担を見据え、よりコンパクトで持続可能な規模の施設を求める。

生涯学習施設は、公民館、図書館、交流拠点の3つの機能を集約した複合施設として、ある程度の規模を考えていますが、設計者の提案を柔軟に検討するなどしながら、効率化と縮小化を図り、コスト削減に努めます。なお、人口減少に伴い、歳入減も懸念されるところですが、財源としては、国の補助金等の活用に加え、4年後に運転開始される予定の洋上風力発電から生じる安定的・長期的な固定資産税収入も想定しています。

市の考え



(2) パブリックコメントの実施状況の概要について（つづき）



◎既存施設の活用に関して

◆これまでの図書館や中央公民館がなくなると歩いていけなくなってしまう。既存の公共施設（産業文化会館、公民館、ふれすぽ胎内等）を活用し、新たな施設と既存施設との役割分担、費用対効果の観点を重視すべきではないか。

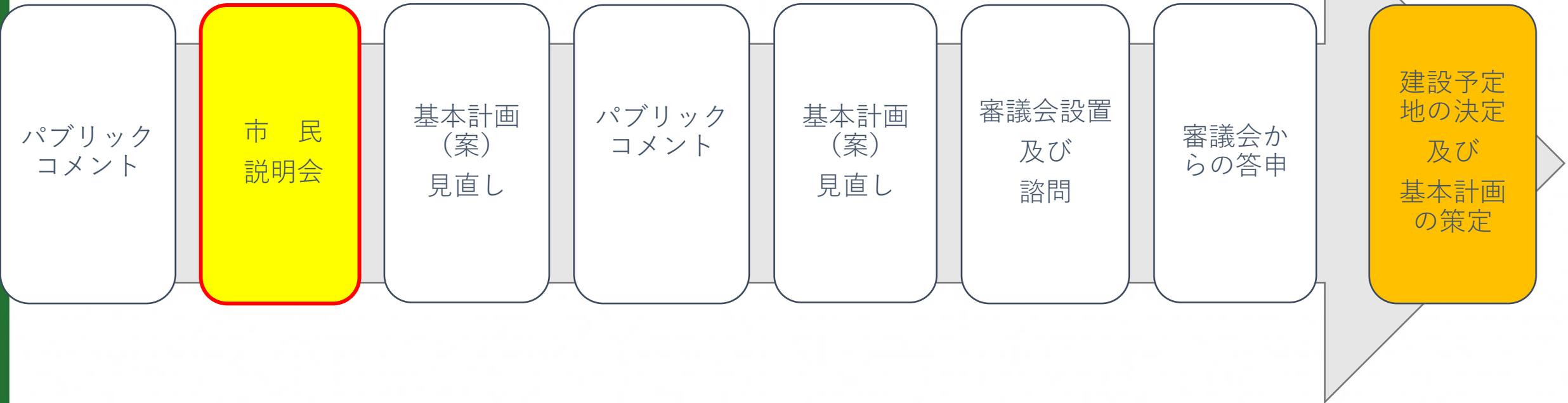
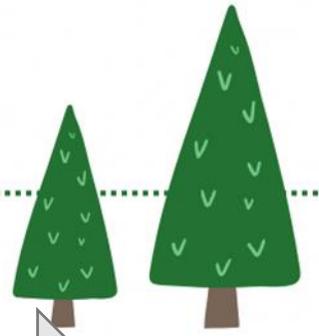
老朽化が進んでいる中条地区の図書館や中央公民館は、実質的には中条地区の皆様の施設としての役割を果たしてきたものと受け止めています。そのため、今後、新たな施設が中心市街地以外に建設される場合には、中条地区においても、乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能は、既存施設の活用も含めて、その機能を維持していきます。

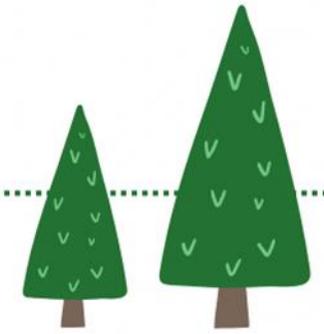
※このたび建設予定の生涯学習施設は「市全体の施設」として構想しているものです。

市の考え



(3) 今後のスケジュールについて





多くの市民の皆様に喜んでいただける
望ましい施設を目指して